

# 平成 30 年度 第 1 回 上越市スポーツ推進審議会 次第

日 時 平成 30 年 7 月 12 日 (木) 午後 3 時から  
会 場 教育プラザ事務所棟 2 階 202 会議室

## 1 開 会

2 あいさつ 上越市スポーツ推進審議会委員長 土田 了輔

## 3 報 告 事 項

- (1) 平成 29 年度スポーツ推進事業実績について
- (2) (仮称) 上越市体操アリーナ整備の進捗について
- (3) 平成 30 年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について
- (4) 総合型地域スポーツクラブの設立に係る進捗状況について

## 4 議 題

- (1) 平成 30 年度スポーツ推進審議会分科会の開催報告及び提案について
- (2) その他

## 5 そ の 他

## 6 閉 会

### <配布資料>

- ・ 次第、名簿、座席表
- ・ 資料 1 第 2 次総合教育プラン前期実施計画 (平成 29 年度実績)
- ・ 資料 2 (仮称) 上越市体操アリーナ整備の進捗について
- ・ 資料 3 平成 30 年度 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について
- ・ 資料 4 総合型地域スポーツクラブの設立に係る進捗状況について
- ・ 資料 5 平成 30 年度スポーツ推進審議会分科会の開催報告及び提案について

## 第 2 次総合教育プラン前期実施計画（平成 29 年度実績）

資料 1

### 施策 1 生涯スポーツ活動の充実

#### □ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、体育協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

#### □ 成果指標と達成状況

評価内容	平成 29 年度	達成状況	
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市体協、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：H27> 89.9%	90%以上にする。	98.8%	○
市内の総合型地域スポーツクラブ、市体協に所属する会員数 <現状値：H27> 25,428 人	26,100 人以上にする。	24,359 人	△

#### □ 平成 29 年度の取組・成果

- ・「スポーツイベントの参加率」は目標を達成できたものの、「市内の総合型地域スポーツクラブ、市体育協会に所属する会員数」は目標を達成することができなかった。
- ・「スポーツイベントの参加率」は、主に市体育協会の加盟団体が行う各種スポーツ教室の参加者数が増加したことにより上昇した。
- ・市体育協会及び総合型地域スポーツクラブの会員数は、いずれも少子化等の影響により減少した。
- ・平成 29 年 5 月に、主に地域自治区のスポーツ活動の推進と市との連携強化を図るため、頸城区、柿崎区、大潟区、三和区の 4 つの総合型地域スポーツクラブによる「上越 SC ネット」が設立された。

#### 目標を達成するための事業等

##### ①スポーツ活動の普及推進

内容	実績	
スポーツ推進委員の活動促進	ニュースポーツ教室、健康体操教室	42 回、延べ 4,851 人参加
	自主活動	154 回、延べ 11,715 人参加
	体力測定会	14 会場
子どもの体力づくり指導者養成講習会		3 回開催、62 人参加
子どもの体力づくり教室		34 回開催、1,875 人参加
親子運動教室		3 回開催、84 組 183 人参加
スポーツ少年団等の活動支援	上越市スポーツ少年団補助金 ジュニアスポーツクラブ補助金	交付率 100%
ジュニアスポーツ大会・教室の開催及び支援	少年スポーツ大会等交付金 居多まつり武道大会補助金	交付率 100%
スポーツ活動サポート事業(小学校)	外部指導者派遣	延べ 344 回

#### ②体育協会、各種スポーツ団体への支援

内容	実績	
スポーツ大会・教室等の開催及び支援	高田城ロードレース大会実行委員会補助金 ビーチラグビー大会補助金 新潟県縦断駅伝競走大会補助金 一般スポーツ教室等交付金	交付率 100%
	えちご・くびき野 100 km マラソンの開催	隔年開催のため未実施

#### ③総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

内容	実績	
総合型地域スポーツクラブの育成	研修会の開催（11 月 26 日）	
上越市総合型地域スポーツクラブネットワーク「上越 SC ネット」設立	5 月に「上越 SC ネット」設立 共同事業としてカヌー体験会を予定していたが、水位の減少により中止	

#### □ 今後の取組

- ・スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、市のスポーツ推進の中核を担う総合型地域スポーツクラブや市体育協会等を中心として、地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図るため、以下の点について取り組む。
  - スポーツ活動の普及推進  
地域スポーツの推進役であるスポーツ推進委員等の活動をより推進するとともに、各種スポーツ教室やスポーツ活動サポート事業を通じて、体力づくりやスポーツについての意識啓発と機会の拡充に取り組む。
  - 市体育協会、各種スポーツ団体への支援  
市民が気軽に参加できる教室や大会などを開催する市体育協会をはじめ各種スポーツ団体の支援を行う。
  - 総合型地域スポーツクラブの育成及び支援  
総合型地域スポーツクラブ間の連携や活動の活性化を図るため、上越 SC ネットとの連携強化と支援を行うとともに、クラブ未設置区域のスポーツ活動の支援に取り組む。

**施策 2 競技スポーツの発展**

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	平成 29 年度	達成状況	
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 162 人 1.42%	出場者数 155 人 出場率 1.4%以上にする。	出場者数 240 人 出場率 2.2%	○
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 129 人 0.59%	出場者数 120 人 出場率 0.55%以上にする。	出場者数 153 人 出場率 0.7%	○
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：H27〉 97 人	103 人以上にする。	述べ出場者数 71 人	△

□ 平成 29 年度の取組・成果

- ・成果指標である「中高生の北信越大会の出場者数及び出場率」、「小・中高生の全国大会出場者数及び出場率」の数値は、市体育協会が取り組むスポーツ指導者養成事業のジュニア層からの選手の育成並びに競技力向上に取り組んできた成果が現れ、いずれも目標を達成することができたが、「ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数」の数値は、陸上とバレーボールで全国大会出場者がいなかったため、目標を達成することができなかった。
- ・達成状況に対する評価としては、小学生から高校生まで、ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技や地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業対象競技に限らず、卓球、柔道、水泳等の競技において、北信越及び全国大会への出場者が増加している。
- ・引き続き、市体育協会と連携したジュニア層の育成強化を進めることにより、全国・世界で活躍するトップアスリートの育成強化を図る必要があると考えている。

目標を達成するための事業等

①スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進

内容	実績	
小中高一貫指導システムの推進	ジュニアトップアスリート育成強化補助金 地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金	交付率 100%
アスリート育成強化事業の推進	アスリート育成強化補助金	交付率 100%
スポーツ活動サポート事業 (中学生)の実施	外部指導者派遣	延べ 886 回

②ジュニア選手層の指導を中心とした指導者養成の推進

内容	実績	
スポーツ指導者養成事業として市体育協会へ補助金交付	上越市スポーツ指導者養成事業補助金	交付率 100%

□ 今後の取組

- ・市体育協会と連携を図りながら、一貫指導システムの推進と指導者養成支援を継続し、アスリート育成強化等に引き続き取り組むとともに、東京オリンピック・パラリンピックの機会を捉え、関連施策と連携しながら、市民のスポーツ活動の推進と競技力の向上を図る必要があることから、以下の点について取り組む。
  - スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進
    - ・ジュニアトップアスリート育成強化事業を推進し、オリンピックをはじめとする国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化を図る。
    - ・スポーツ活動サポート事業（中学校）により、中学校の部活動に専門的な技術指導ができる外部指導者を派遣し、生徒の競技力の向上を図る。
  - ジュニア選手層指導を中心とした指導者養成の推進
    - ・スポーツ指導者養成事業により、各種競技団体による指導者養成事業を支援し、ジュニア層の指導者養成に取り組む。
    - ・市体育協会等と連携し、日本体育大学と締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、競技指導者の派遣など指導者育成に取り組む。

### 施策3 スポーツ環境の整備

#### □ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

#### □ 成果指標と達成状況

評価内容	平成 29 年度	達成状況	
体育施設（体育館）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27 平均〉 22,951 人/施設	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	26,003 人/施設	○
体育施設（野球場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27 平均〉 7,826 人/施設	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	7,180 人/施設	△
体育施設（多目的広場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27 平均〉 5,958 人/施設	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	6,234 人/施設	○
体育施設（テニスコート）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27 平均〉 6,370 人/施設	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	7,543 人/施設	○

#### 目標を達成するための事業等

##### ①スポーツ活動の普及推進

内容	実績
少年野球場トイレ棟改修工事	平成 29 年 9 月完了
藤野野球場照明設備修繕工事	平成 29 年 10 月完了
総合体育館照明設備修繕工事	平成 29 年 11 月完了
高田スポーツセンター下水道接続・舗装修繕工事	平成 30 年 2 月完了

##### ②体育施設の再配置の推進「上越市公の施設の再配置計画の推進」

内容	実績
高土スポーツ広場（野球場・体育館・研修棟）	平成 30 年 3 月末で条例廃止
厚生北会館の解体工事	平成 29 年 12 月完了
柿崎上中山体育館の解体工事	平成 29 年 11 月完了
名立区ひなさき運動公園の解体工事	発注見送り
名立区田野上運動広場の解体工事	平成 29 年 12 月完了
名立区名南グラウンドの解体工事	平成 30 年 2 月完了
牧中学校照明設備の解体工事	平成 29 年 12 月完了

※平成 29 年 3 月 条例廃止

##### ③拠点施設・専門施設の整備

内容	実績
高田公園陸上競技場改修工事	第 2 種陸上競技場の公認を取得し、平成 29 年 8 月 29 日竣工（9 月 1 日供用開始）
（仮称）上越市体操アリーナ整備事業	実施設計（平成 30 年 3 月 20 日完了）

#### □ 平成 29 年度の取組・成果

- ・成果指標である体育施設（体育館、野球場、多目的広場、テニスコート）の1施設当たりの年間延べ利用者数は、「上越市公の施設の再配置計画」に基づき、計画的に施設の統廃合を進めるとともに、定期利用を希望する団体の活動を後押しするため、施設の年間予約を推進することにより、施設の延べ利用者数は、野球場を除き目標を上回る事ができた。
- ・体育施設の整備は、上越市少年野球場トイレ等改修工事や上越地域唯一の第 2 種公認陸上競技場となる高田公園陸上競技場の大規模改修工事など、施設機能の維持・拡充に取り組んだほか、総合的な体操競技の専用施設として新設する（仮称）上越市体操アリーナの実施設計に取り組みました。

#### □ 今後の取組

- ・施設の老朽化が年々進んでいくことから、施設のグレードに基づき、計画的に設備や備品の機能維持に取り組みます。
- ・人口減少や少子高齢化に加え、競技種目の多様化などにより、過剰な施設や不足している施設が顕在化しつつあることから、市民ニーズに適した安全で快適な環境を将来的に持続できるよう「上越市公の施設の再配置計画」の見直しに取り組みます。
- ・総合的な体操競技の専用施設となる（仮称）上越市体操アリーナの整備を進めます。



# 平成30年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の取組について

## 1 ドイツ体操連盟の視察受入れと交流事業

### (1) 概要

4月14日の体操ワールドカップ東京大会のために来日したドイツ体操連盟の関係者のうち、役員2人と選手1人の3人が来越し、事前合宿の関係施設を視察するとともに、市内のジュニア体操選手との交流を行ったもの。

視察では、練習施設、宿泊施設、レクリエーション施設など、全体として高い評価をいただいた。今後は、本契約に向けて詳細な事項を協議していく。

### (2) 視察内容

#### ①日程

平成30年4月15日(日)～16日(月)

#### ②訪問者

ドイツ体操連盟競技スポーツ担当理事長 ヴォルフガング・ヴィラム氏  
 ドイツ体操連盟女子代表監督 ウルスラ・コッホ氏  
 ドイツ体操チーム男子代表選手 アンドレアス・ブレットシュナイダー氏  
 (同行：国際体操連盟名誉副会長 瀧澤康二氏)

#### ③主な視察先と交流

- ・練習施設：大潟体操アリーナ、(仮称)上越市体操アリーナ建設地
- ・宿泊施設：アートホテル上越
- ・レクリエーション施設：鶴の浜 人魚館
- ・医療施設：上越総合病院、県立中央病院(外観のみ)
- ・その他レクリエーション環境：海水浴場、上越市立水族博物館(外観のみ)、高田公園 等

### (3) ドイツ体操連盟からの主な意見等

- ・練習施設の機能面は非常によく、良い練習ができることが想像できる。
- ・練習施設には、東京オリンピックの公式器具を導入してもらいたい。
- ・選手にとって、トレーニング・ウェイトトレーニング・サウナの組み合わせが大事である。
- ・荷物が多いため、ホテルの部屋は1人当たりスタンダードツインの広さ(約17㎡)が必要。
- ・サウナは必ず必要だが、大きいものでなくてよい。 など



【大潟体操アリーナ視察】



【ジュニア選手との集合写真】

## 2 今後の取組

### (1) パラリンピック柔道選手を含むドイツ柔道チームの合宿受入れについて

#### ①概要

- 2020年東京パラリンピックにおける事前合宿の招致について、ドイツ柔道連盟と協議を行ってきた結果、当市において本年8月にパラリンピック柔道選手を含むドイツ柔道チームの合宿が行われることとなった。
- この合宿を2020年東京パラリンピックにおける事前合宿招致につなげるとともに、ドイツのホストタウンとして今後のスポーツ交流の拡大や青少年の競技力の向上を図っていく。

#### ②実施内容(予定)

- ・受入人数 22人(パラ柔道選手5人、U21選手12人、コーチ4人、理学療法士1人)  
 ※パラリンピック柔道選手は2016年リオパラリンピックの銅メダリストを含む有力選手が派遣される見込み。
- ・合宿期間 平成30年8月6日(月)から17日(金)(11泊12日)
- ・練習会場 高田スポーツセンター、上越高等学校
- ・合宿内容 市内高校柔道部、上越市柔道連盟の選手との練習のほか、ドイツ柔道チームへ多くの日本人選手との練習を行いたいとの要望があり、新潟県柔道連盟や上越市柔道連盟とつながりのあるパラ柔道日本代表チーム、新潟県警や県内高校・県外大学の柔道部との練習を予定している。  
 また、市内小中学生を対象としたドイツ選手による講習を行う。

#### ③今後の取組

本年8月の合宿受入れを円滑に進めるとともに、東京2020パラリンピックにおける事前合宿の招致に向けて、引き続きドイツ柔道連盟との協議を進める。

### (2) 空手道の合宿招致活動について

- 新潟県立武道館を活用した東京2020オリンピックの事前合宿の招致に向けて、本年5月にドイツ空手連盟の担当者と連絡がとれたことから、当市の事前合宿に関する資料を提供したが、その後の連絡はない。  
 引き続き、関係団体からの情報収集を行うとともに、ドイツ空手連盟へ当市への視察等を促すなど交渉を進めていく。

### (3) ホストタウン事業のPR活動について

- 東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の一環として、市民に対するオリンピックの機運醸成、ドイツ文化への理解や親近感を高めることを目的として、オリンピックとの交流会やパラリンピックスポーツ体験会、ドイツ文化講演会等のイベントを開催するほか、市内で開催される各種イベントにおいて、ホストタウン事業の概要やドイツの文化等を紹介するPRコーナーを設置する予定である。

## さとまるスポーツクラブ趣意書

国が進める、総合型地域スポーツクラブの理念は、「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも」スポーツに親しむことができ、スポーツを通して地域コミュニティを成熟させていくことを目的としています。

スポーツは、我々が健康で文化的な生活を送るために重要な役割を担っています。

また、地域の人々が交流を深めコミュニケーションを築く上でも効果的な手段であります。

私たち、NPO 法人中郷区まちづくり振興会がめざす総合型地域スポーツクラブの目的は、子供から高齢者、健康・交流志向から技術向上志向の方までスポーツや文化活動を気楽に楽しめる環境を構築し、明日の中郷区を担う心身ともにたくましい子供たちの育成に、そして世代を超えた交流を通じて、健康で豊かな生活ができる町づくりに寄与していくことです。

そこで、当組織の次世代育成チームのスポーツ振興部・教育文化部が総合型地域スポーツクラブ「さとまるスポーツクラブ」の事業を運営するものとし、スポーツ・文化の視点で、次世代育成だけでなく、地域資源開発や高齢者サポート等各チームと連携を図った活動をしていきます。また、小規模サークルなどで現在スポーツを楽しんでいる人たちの活動を、スポーツクラブの活動とし、広く区民に周知することで、今までスポーツをしなかった人達や、できなかった人達が気軽に楽しく体を動かせる環境整備に努めます。

つきましては、この趣旨にご賛同いただき、本クラブの運営や諸事業に対するご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### クラブ運営の方針

- 1 区民がスポーツ活動や文化活動を通じて、より一層人と人とのつながりを深める機会を設けることで、区民の一体感と連帯感を高める。
- 2 区の伝統文化・自然を大切にし、多様目・多志向・多世代が楽しむことができるクラブ運営を推進する。
- 3 子供たちの健やかな成長に寄与し、親子の交流や多世代との交流を推進し、地域の教育力の向上に努める。
- 4 スポーツ活動や文化活動を通じた喜びや感動を体験する機会を幅広く提供することで、区民の生涯にわたった心身の健康に寄与する。

平成30年4月21日

さとまるスポーツクラブ  
設立発起人会 代表 竹内 靖彦  
竹内 昭彦



## 「さとまるスポーツクラブ」設立準備日程（案）

月	日	予定	内容	備考
4	21	まちづくり振興会総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの構想と趣旨書を示し、クラブ設立への賛同を得る</li> <li>クラブ名「さとまる」に決定</li> </ul>	
5	3	設立準備企画委員会の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習会の開催（基本的なクラブ構想を決定）</li> <li>規約の原案を決定</li> </ul>	クラブ設立構想のイメージの共有化
6	13	第2回設立準備企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立までの日程確認</li> <li>区内で活動しているサークルの把握</li> <li>啓発ポスターについての検討</li> </ul>	
7	19	クラブ・サークル説明会 第3回設立準備企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内20のクラブ・サークルへのさとまるSCの説明と加入呼び掛け</li> <li>さとまるSCのキャラクターの決定</li> </ul>	教室を担当するクラブサークルの募集
8		第4回設立準備企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>さとまるSC参加のクラブ・サークルの決定</li> <li>年間活動計画、啓発ポスターの構想づくり</li> </ul>	
10		第1回設立準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立準備委員の委嘱</li> <li>さとまるSC構想の承認</li> <li>啓発ポスターの発注、事務局の委嘱</li> </ul>	第1回設立準備委員会を開催。啓発ポスターを承認、発注
11	上旬	第2回設立準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室やサークルの活動調整と年間活動計画の作成</li> <li>体育施設等借用施設の割り振り、活動日程の決定</li> <li>年間活動計画、啓発ポスター構想の提案承認</li> </ul>	
	下旬	第3回設立準備委員会 区内巡回説明開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>さとまるクラブの組織を決定</li> <li>H31年度の活動日程を協議</li> <li>賛助会員の募集（分担確認）</li> <li>啓発ポスターの配布、掲示</li> <li>区内の町内での説明要請への対応</li> </ul>	地元企業等への賛助会員への加入呼び掛け
12		第4回設立準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度事業計画・予算案の作成</li> <li>施設予約の点検及び提出</li> </ul>	賛助会費を含めた予算案及び事業計画の作成
1		第5回設立準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室・事業計画細案提案</li> <li>H31年度事業及び予算案提案</li> </ul>	担当者及び活動内容の決定
2		第6回設立準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動場所及び時間の決定通知を受け、年間活動計画を決定</li> <li>全戸配布用事業計画の作成</li> </ul>	会場の利用調整と決定版の年間活動計画作成
3		まちづくり振興会との合同会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>H31活動計画、予算案の承認</li> <li>設立総会準備</li> </ul>	合同会議での承認
4		設立総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>中郷区まちづくり振興会総会時に、さとまるSC設立総会開催</li> </ul>	



## I 障害者スポーツ・生涯スポーツ部会

課題「障害者スポーツ・生涯スポーツへの理解の促進と実施母体の育成」

### 提案1 障害者スポーツ・生涯スポーツのコラボによる体験イベントの開催

#### (1) 内容

- ・障害者スポーツ団体、レクリエーション協会、運動普及推進員会、スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ等、現在市内で活動しているスポーツ団体と市の協働による幅広い年代層に対応したスポーツイベントを開催し、様々な障害者スポーツや生涯スポーツを楽しんでもらいながら理解の促進を図る。

#### (2) 期待する効果

- ・コラボイベントの種目は、市内で活動している既存の団体やクラブ、サークル等に幅広く募集し協働して取り組むことで、それぞれの団体の強みと弱みをフォローし合え、今後、様々な面での協働が進んでいくことが期待できる。
- ・体験した市民が、それぞれの団体やサークルの日常活動に興味を持ち、参加することで各年代層のスポーツ実施率の向上が期待できる。

### 提案2 総合型地域スポーツクラブを含めた各団体の協働取組への支援

#### (1) 内容

- ・加速する人口減少、少子高齢化を見据え、既存の総合型地域スポーツクラブや団体クラブ等の広域連携を支援し、地域間格差をできるだけ解消し、すべての市民がやりたいときにスポーツができる環境を整備することで、すべての市民の運動機会の拡充を図る。

#### (2) 期待する効果

- ・クラブやサークル団体等が広域に連携し、カバーし合える環境を整備し、市内の各エリアに様々なスポーツができる環境をつくることで、地域間格差を最小限に留めることが期待できる。
- ・広域連携への支援を行い、活動の拡充を図ることで、存続の危機にあるクラブや団体の活動が活性化していくことが期待できる。

## II 競技スポーツ（学校体育）部会

課題「部活動と地域スポーツ団体との協働による指導体制の整備と拡充による競技力向上施策について」

### 提案1 拠点化スポーツ施設使用団体の小・中・高一貫指導体制整備への支援

#### (1) 内容

- ・現在成果の上がっているジュニアトップアスリート育成強化事業を拡充し、総合型地域スポーツクラブを含み拠点施設で、小・中・高一貫体制で指導を行っている団体を支援し、活動の充実を図る。

#### (2) 期待する効果

- ・部活動の縮小による練習時間減少による競技力の衰退を防ぎ、学校体育の課題である指導者の異動による競技力の変化を抑えることができ、上越版の特色ある指導体制の構築が期待できる。
- ・競技スポーツの振興を学校体育から社会体育へ緩やかに移行していき、将来的に社会体育が学校体育を支える体制づくりが期待できる。
- ・児童生徒がやりたいスポーツを選択し、できる環境の構築が期待できる。
- ・児童生徒数の減少で、活動が縮小している種目別団体やサークルの活動縮小を最低限に抑えることが期待できる。

### 提案2 民間を含む各スポーツクラブと行政の協働による競技力の向上

#### (1) 内容

- ・小・中・高一貫指導体制で競技力の向上を行っている民間スポーツ団体や競技力の向上を推進している総合型地域スポーツクラブを含む各クラブの活動を支援し、幅広く小・中・高一貫指導体制を整備し競技力の向上を図る。
- ・小・中・高一貫指導体制で競技力の向上を行っている民間スポーツ団体やスポーツクラブ等の施設使用料の減免制度を見直し、WIN・WINの関係を構築することで、より良い環境で選手の育成強化を図る。

#### (2) 期待される効果

- ・民間スポーツクラブや様々なクラブとの行政が協働することで、市民が幼児期から選択できる種目数が増加し、競技力を押し上げる効果が期待できる。
- ・民間スポーツクラブを支援したり、官民協働で事業を推進したりしていくことで、上越市で育んだ優秀な選手が、選手として、現役を退き指導者として帰越することが期待できる。